

株式会社 クリエイト SD ホールディングス



2025年5月期第2四半期 決算説明資料

2025年1月16日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性があります。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:尾崎・木村(TEL 045-914-8241)

2025年5月期 第2四半期 実績

1. 決算ハイライト(連結)
2. 損益計算書(連結)
3. 貸借対照表(連結)
4. 出退店状況
5. 業績ハイライト

2025年5月期 通期計画

1. 出退店状況
2. 2025年5月期の取り組み
3. 2025年5月期 通期計画(連結)
4. 株主還元について
5. サステナビリティ経営の推進

2025年5月期 第2四半期 実績

1. 決算ハイライト(連結)

2025.5期 第2四半期 累計実績

売上高

2,248億円

(前期比 **108.4%**)

経常利益

108億円 経常利益率
4.8%

(前期比 **106.0%**)

《事業概況》

- ・ EDLP施策の継続推進により既存店売上・客数は引き続き堅調、調剤においても併設店舗数の増加や各種加算の算定強化等により処方箋応需枚数及び処方箋単価は堅調に推移
- ・ 人件費をはじめとした販管費コントロールにより**増収増益**を達成

2. 2025年5月期 第2四半期 PL(連結)

	2024.5期 第2四半期 累計 実績		2025.5期 第2四半期 累計 実績			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売 上 高	207,451	100.0	224,806	100.0	108.4	98.9
売上総利益	53,965	26.0	58,248	25.9	107.9	99.4
販売管理費	44,113	21.3	47,786	21.3	108.3	99.8
営 業 利 益	9,852	4.7	10,462	4.7	106.2	97.8
経 常 利 益	10,191	4.9	10,807	4.8	106.0	99.2
親会社株主に帰属する 中間純利益	6,875	3.3	7,022	3.1	102.1	96.2

売上高

- ・EDLP施策の継続推進により既存店売上、客数は引き続き堅調
- ・2Qは暖冬による季節商材不振や、風邪・インフル等急性疾患の流行がなかったことで計画未達

売上総利益

- ・調剤事業による押上げの一方、食品構成比増に伴う荒利ミックス変化により前年同期差 $\Delta 0.1\text{pt}$

販管費

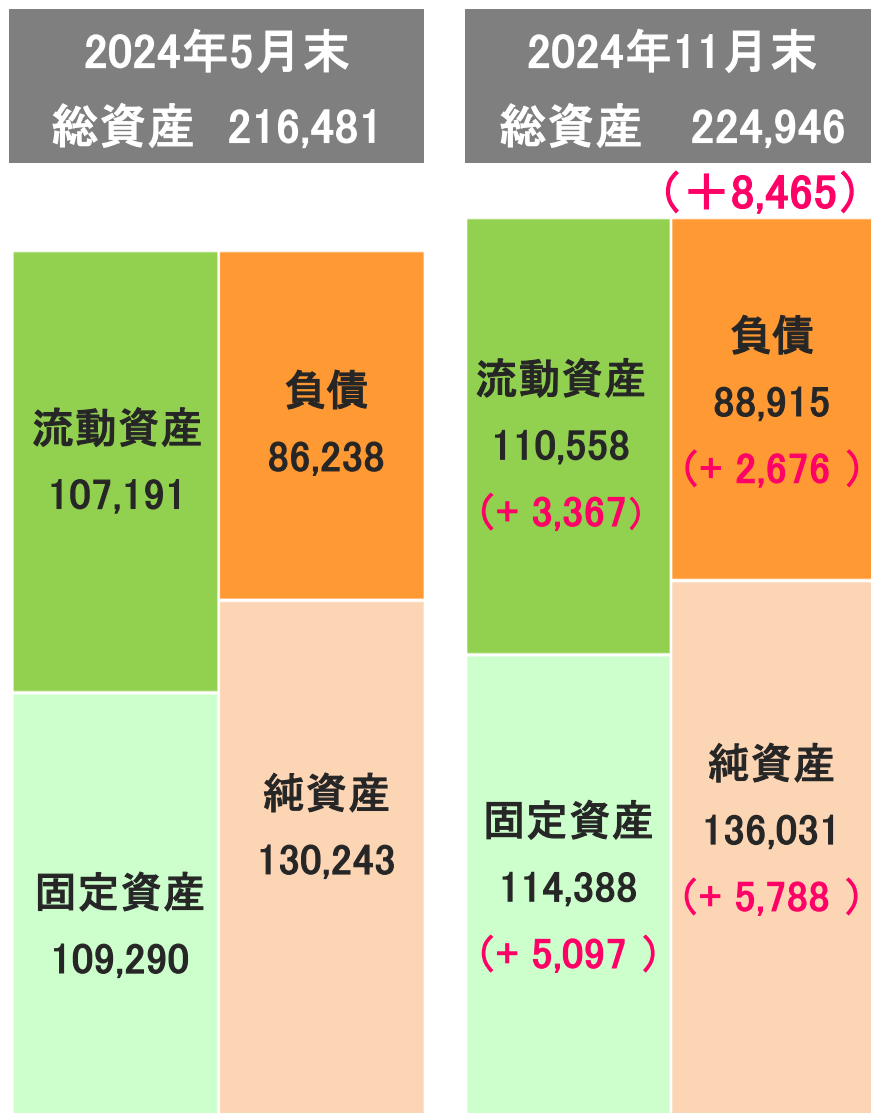
- ・人件費をはじめとした販管費コントロールにより前年同期差 $\pm 0.0\text{pt}$

経常利益

計画差 $\Delta 92\text{百万円}$

- ・前期より導入した業績連動賞与の引当分(139百万)が計画外で計上
- ・上記影響を排除すれば、経常利益ベースで計画を上回る

3. 2025年5月期 第2四半期 BS(連結)



(単位: 百万円)

■ 流動資産 +3,367

現預金の増加	+2,248
売掛金の増加	+675
商品の増加	+1,888

■ 固定資産 +5,097

土地	+1,629
建物及び構築物	+2,076

■ 負債 +2,676

買掛金の増加	+635
--------	------

■ 純資産 +5,788

利益剰余金	+4,645
-------	--------

4. 出退店状況

■ 出退店・改装

今期累計 出店数		神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
出店	ドラッグストア	9	4	1	3	4	2	23
	調剤薬局	11	2	0	2	0	0	15

・退店:ドラッグストア **2店舗** (契約満了 1店舗、経営効率化 1店舗)

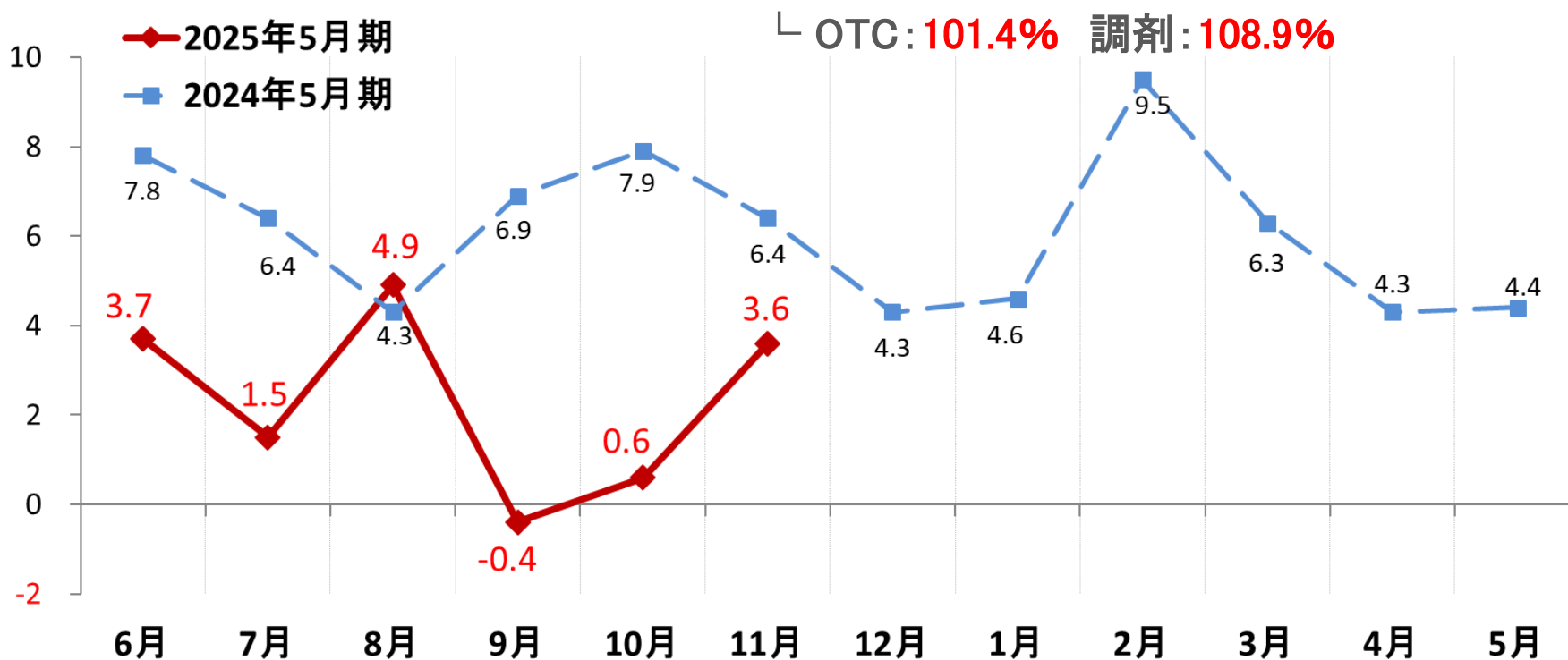
・改装: **16店舗** (MD見直し 8店舗、調剤開局フォロー 8店舗)

■ 期末店舗数

	神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
ドラッグストア	427	117	98	68	27	36	773
併設薬局	236	57	35	40	18	10	396
併設率	55.3%	48.7%	35.7%	58.8%	66.7%	27.8%	51.2%
専門薬局	27	7	0	2	0	1	37
SM・生鮮専門店	6	0	0	0	0	0	6
総店舗数	460	124	98	70	27	37	816

5. 業績ハイライト

■ 既存店 売上高前年比(上期計): **102.3%** (1Q:103.3% 2Q:101.3%)



今期

前期

猛暑による
夏物季節品好調

残暑・暖冬による
冬物季節品不振

南海トラフ地震
臨時情報による
買い溜め特需と反動

コロナ5類 人流回復・外出機会増

風邪・インフル等急性疾患流行

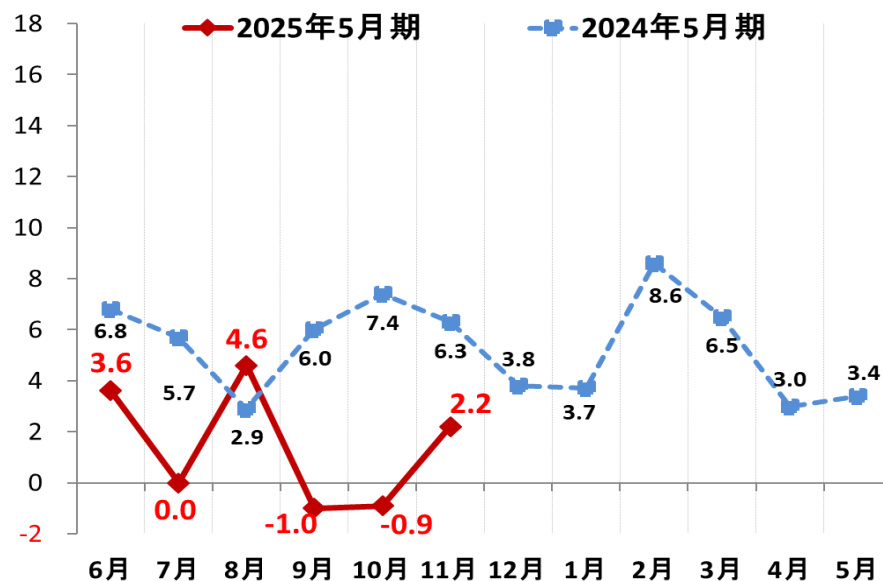
うるう年

花粉飛散量
例年より僅少

5. 業績ハイライト

OTC既存店 売上前年比

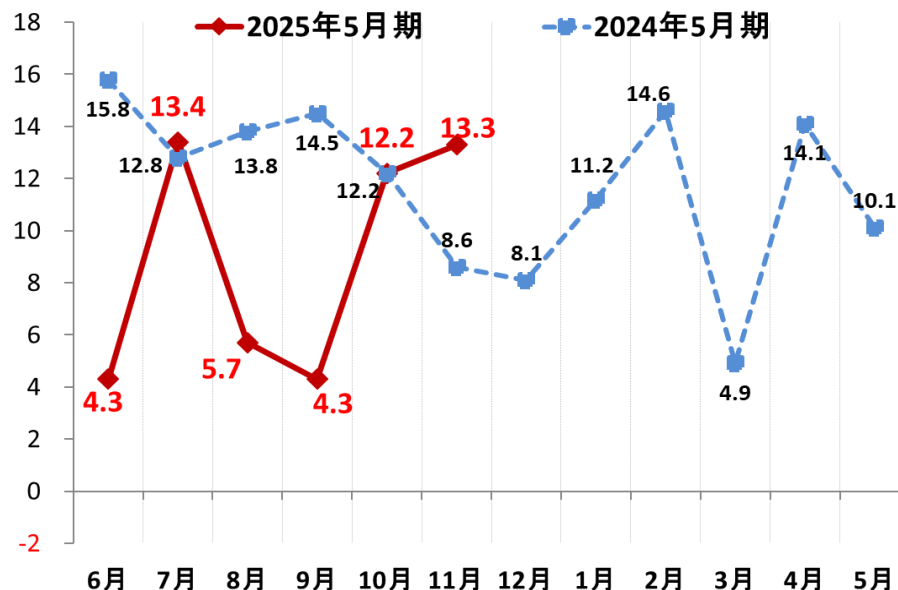
上期計:101.4%(1Q:102.7% 2Q:100.1%)



- ・前期に引き続きEDLP施策の推進奏功
- ・1Q:猛暑による夏物商材好調、8月は南海トラフ地震臨時情報により買い溜め特需が発生
- ・2Q:8月特需の反動減や暖冬による冬物商材不振、マスク・感冒薬等、前年急性期疾患流行の反動減

調剤既存店 売上前年比

上期計:108.9%(1Q:107.8% 2Q:109.9%)



- ・調剤併設推進による処方箋応需枚数増
- ・前年8月、9月はコロナ5類移行後の受診控えからの回復によりコロナ感染が流行、今期はその反動減
- ・各種加算の算定強化、高額処方の応需増等による処方箋単価増により既存店売上を下支え

5. 業績ハイライト

■ セグメント別売上高

	2024.5期 第2四半期 累計実績		2025.5期 第2四半期 累計実績		
	売上高 (百万円)	構成比(%)	売上高 (百万円)	構成比(%)	前期比 (%)
医 薬 品	54,654	26.6	57,543	25.9	105.3
O T C	30,497	14.8	30,358	13.7	99.5
調 剤	24,157	11.8	27,184	12.2	112.5
化 粧 品	24,038	11.7	25,261	11.4	105.1
食 料 品	86,056	41.9	95,521	42.9	111.0
日 用 雑 貨 品	30,965	15.1	33,676	15.1	108.8
そ の 他	9,665	4.7	10,437	4.7	108.0
合 計	205,380	100.0	222,440	100.0	108.3

医薬品

《OTC》

- ・前年、急性期疾患流行による感冒薬、マスク、検査キット等の反動減影響
- ・健康食品(サプリメント)の不調

《調剤》

- ・調剤併設推進による応需枚数増
調剤売上構成比は**12.2%と伸長**

食料品

- ・節約志向・商品選別志向が高まる中、EDLP施策が奏功し販売数増
売上構成比は42.9%まで伸長

※“その他”の部門には 文具・ベビー用品・衣料品・ペット・園芸等が含まれます

5. 業績ハイライト

■ 調剤薬局部門

処方箋枚数

- ・調剤併設推進による応需枚数増
- ・前年の風邪、インフル流行による急性期処方増の反動減

処方箋単価

- ・診療報酬及び薬価改定影響受けつつ、各種加算の算定により単価下支え
- ・高額処方の応需増

荒利率

- ・診療報酬改定による影響は各種加算の算定によりプラス影響
- ・薬価については9月末に納入価が妥結、結果として薬価改定影響により荒利率は前年を下回る

	2024.5期 第2四半期 累計実績	2025.5期 第2四半期 累計実績	前期比 前期差
全店売上 (百万円)	24,157	27,184	112.5
処方箋枚数 (千枚)	2,648	2,976	112.4
処方箋単価 (円)	8,933	8,976	100.5
既存店売上 (百万円)	24,127	26,268	108.9
処方箋枚数 (千枚)	2,644	2,857	108.0
処方箋単価 (円)	8,935	9,043	101.2
在宅売上 (百万円)	709	713	100.6
在宅店舗数 (店)	189	193	+4
処方箋枚数 (千枚)	45	45	100.1
全店荒利率 (%)	41.5	40.7	▲0.8

■ 診療報酬改定による影響

- ・地域支援体制加算の減額影響(▲7点)は、調剤基本料の増額(3点)、**連携強化加算**の算定(5点)によりカバー
- ・選定療養制度の開始によりジェネリック医薬品への切り替えが進み、**後発医薬品調剤体制加算**の算定増
- ・マイナンバー利用促進により**医療DX推進体制整備加算**の算定が進み、技術料においてはプラス影響

5. 業績ハイライト

■ 売上総利益率・販管費率

売上総利益率

《調剤》

- ・調剤荒利率は低下した一方、売上構成比が伸長したことにより全体荒利率を押し上げ

《OTC》

- ・EDLP施策は継続推進
- ・各部門荒利率は改善傾向の一方、部門荒利ミックスの変化により全体荒利率は前年を下回る

販管費率

《人件費》

- ・人員の適正配置による人件費コントロール

《水道光熱費》

- ・政府助成金終了による増加
※8～10月のみ酷暑緊急乗り切り支援助成あり

《支払手数料》

- ・決済端末入替に伴う手数料率変更

《地代家賃》

- ・自社所有物件増により構成比低下

	2405期 第2四半期 累計		2505期 第2四半期 累計		前期比差	
	実績(百万円)	構成比	実績(百万円)	構成比	構成比差(%)	前年比(%)
売上額	205,380	100.0	222,440	100.0	-	108.3
売上総利益	53,660	26.1	57,890	26.0	▲0.1	107.9

	2405期 第2四半期 累計		2505期 第2四半期 累計		前期比差	
	実績(百万円)	構成比	実績(百万円)	構成比	構成比差(%)	前年比(%)
人件費計	24,535	11.9	26,270	11.8	▲0.1	107.1
水道光熱費	2,148	1.0	2,608	1.2	+0.2	121.4
減価償却費	2,159	1.1	2,542	1.1	±0.0	117.7
支払手数料	2,572	1.3	2,739	1.2	▲0.1	106.5
地代家賃	8,545	4.2	9,002	4.0	▲0.2	105.4
販売費・一般管理費	44,588	21.7	48,273	21.7	±0.0	108.3

2025年5月期 通期計画

1. 出退店状況

■ 下期出退店 ※2025年1月時点見込み

ドラッグストア **17店舗**（通期：**40店舗**） *当初計画：45店舗

調剤薬局 **21店舗**（通期：**36店舗**） *当初計画：40店舗

	上期出店	下期出店	通期出店	通期退店	2025年5月末店舗数(見込み)
ドラッグストア	23	17	40	5	787店舗
併設調剤	15	20	35	0	416店舗(併設率52.9%)
専門調剤	0	1	1	0	38店舗
ゆりストア	0	0	0	0	6店舗
総店舗数	23	18	41	5	831店舗

■ 下期取り組み内容

・ビューティケア強化業態「Cremo」の展開

- ▶ショッピングセンター内への新規出店
- ▶Cremo要素を取り入れた既存店改装

・ゆりストアとの複合出店

- ▶SM業態から「生鮮強化型・調剤併設ドラッグストア+医療モール」の大型複合店舗へ転換



2. 2025年5月期の取り組み

■調剤DXに向けた取り組み

- ・電子処方箋応需に向けた体制整備
 - ▶25年1月時点、ほぼ全薬局において電子処方箋システム導入済
- ・マイナンバーカード利用促進のお声掛け
 - ▶25年1月時点、約8割の薬局でDX加算(医療DX推進体制整備加算)を算定
- ・各種オンラインサービス、処方せん事前送信アプリの活用推進
 - ▶デジタル経由での処方箋応需に向けた対応

■生産性向上の取り組み

- ・物流センター新設による物流効率改善およびCO₂排出削減
 - ▶24年11月、千葉県柏市に新物流拠点「柏センター」を稼働、千葉・茨城・東京(一部)の最大100店舗をカバー
 - ▶常温商品・チルド商品・青果・精肉・惣菜等の同時配送に加え、一部食品においてはDC機能(在庫機能)を整備
 - ▶25年2月、神奈川県厚木市に自社物流センターとしては最大(地上3階建/延床面積11,068坪/最大180店舗管轄)の「猿ヶ島センター」が稼働予定



3. 2025年5月期 計画(連結)

※通期計画は修正しておりません

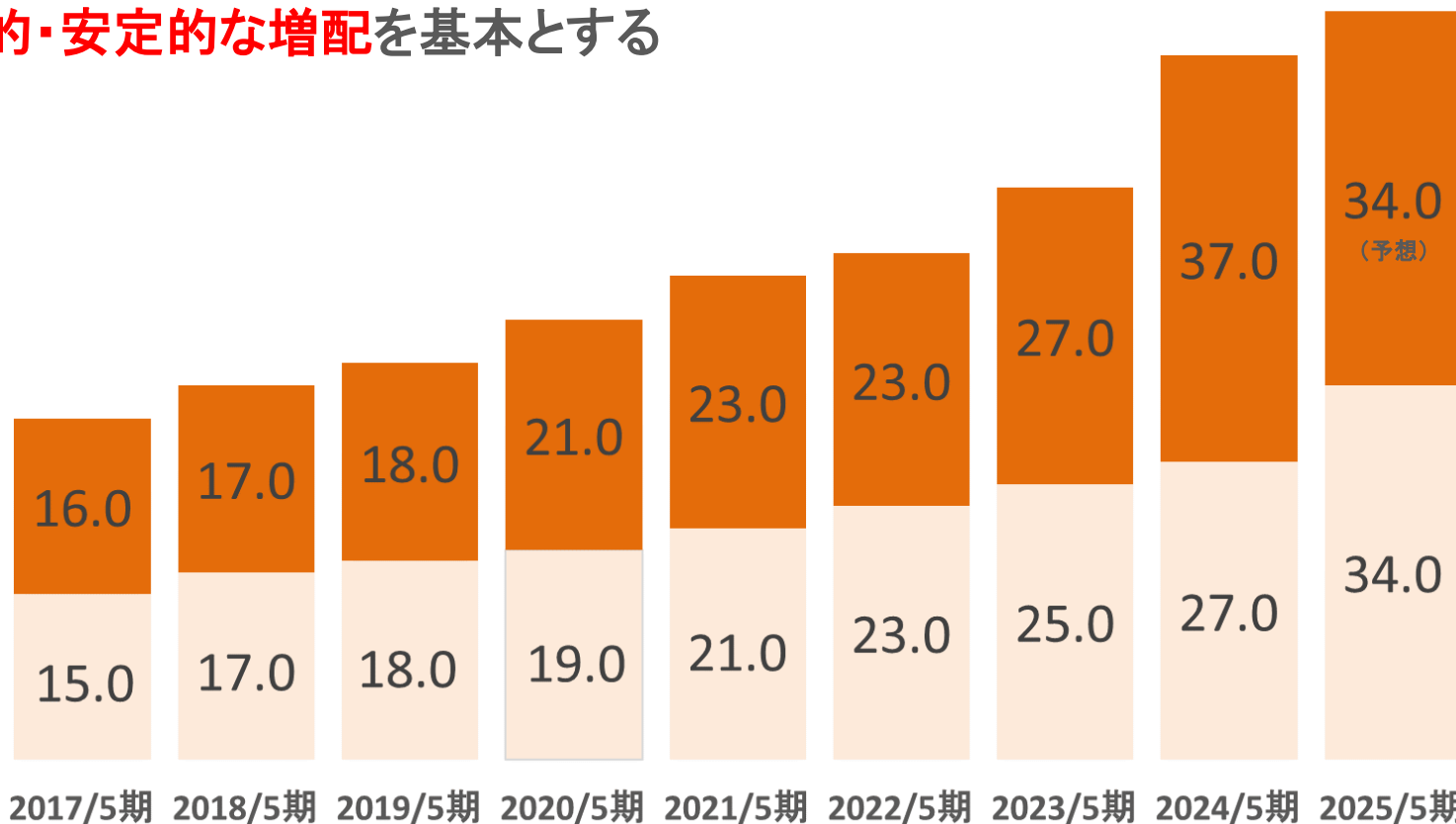
通期	2024.5期 実績		2025.5期 計画			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	前期差 (百万円)
売 上 高	422,330	100.0	457,600	100.0	108.4	+35,270
売 上 総 利 益	110,187	26.1	119,100	26.0	108.1	+8,913
販 売 管 理 費	89,959	21.3	97,100	21.2	107.9	+7,141
営 業 利 益	20,227	4.8	22,000	4.8	108.8	+1,773
経 常 利 益	20,882	4.9	22,400	4.9	107.3	+1,518
当 期 純 利 益	13,691	3.2	14,400	3.1	105.2	+709

4. 株主還元について

■1株当たり配当金 推移

過去13年に渡り、連続増配

- ・営業CFを成長投資、株主還元、財務基盤強化へバランスよく配分
- ・株主還元は、純資産配当率、配当性向(今期予想30.3%)を総合的に勘案、**継続的・安定的な増配**を基本とする



5. サステナビリティ経営の推進

■環境負荷低減への取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



・店舗屋上への太陽光パネル設置

- ▶25年1月時点、**29店舗**において設置
…25年5月末計画 52店舗(+23店舗)
- ▶25年2月稼働予定の猿ヶ島物流センターの屋上への設置を計画



・物流センター新設による配送効率改善

- ▶常温商品・チルド商品・青果・精肉・惣菜等の同時配送やDC機能等により配送効率を改善、**商品輸送時におけるCO₂排出量削減**(約7千トン/年)を見込む
- ▶DC機能については、該当店舗の一部食品において約1週間分を在庫、**有事におけるBCP機能**も備える